

事務事業評価(事前評価)シート【平成30年度】

主管課(担当名)	農林課(林務・自然保護担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	春国岱原生野鳥公園管理運営事業	事業番号	215

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	4-3	自然資源の賢明な利用促進
	施策目標	人と自然が共生しその恵みを次世代へ引き継ぐまち	

2 事務事業の目的

目的	「春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター」は、春国岱周辺の貴重な自然環境を保持し、自然保護思想の高揚を図る場であり、自然教育の核となる施設である。また、多くのバードウォッチャーが訪れるなど、観光振興にも寄与しているところである。これらことから、春国岱周辺の環境整備等を実施することにより、より一層の自然環境と調和し安心かつ快適に観光できる基盤の整備促進に努めることを目的とする。
成果	自然保護思想の高揚や自然資源の持続的な利用が図られ、自然環境の保護保全につながるるとともに、観光資源としてのより一層の活用が図られる。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input checked="" type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
		28						
	29							
	30							
	31							
	32							
		①春国岱周辺の環境整備 ②春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンターの適正な運営						
		①春国岱周辺の環境整備 ②春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンターの適正な運営						
		①春国岱周辺の環境整備 ②春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンターの適正な運営						
事業費と内訳	(単位:千円)		H28	H29	H30	H31	H32	総事業費
	事業費				20,345	20,154	20,154	60,653
	内訳	国庫支出金						
		道支出金			13	13	13	39
		地方債						
		その他			20,332	20,141	20,141	60,614
	一般財源							
	人員(人工)				0.08	0.08	0.08	0.24
職員費(人員×7,679千円)				616	616	616	1,847	
総事業費				20,961	20,770	20,770	62,501	
維持管理	管理主体		施設管理については直営(市が直接実施)					
	運営方法		施設運営については委託(民間等へ委託)					
	維持管理費	施設維持費			17,815	17,624	17,624	53,063
		概算人件費			2,530	2,530	2,530	7,590
合計/年				20,345	20,154	20,154	60,653	

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H29)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
		市民との連携・協働による自然環境の保護・保全活動の参加者数	59人	70人

**事務事業改善策
(継続事業のみ記入)**

未来を担う子どもたちに地元根室の豊かな自然を残すため、春国岱周辺海岸を一般市民を巻き込み市民協働型の一斉清掃事業として実施した。また、春国岱原生野鳥公園施設ボランティアグループ「スंक」による自然観察力を養う行事や木工教室を開催し、自然保護思想の高揚を図る取り組みを実施しているところである。

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	自然保護思想の高揚や自然資源の持続的な利用が図られ、自然環境の保護保全につながるのと同時に、観光資源としてのより一層の活用が図られる。
--------------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 世界有数の野鳥の楽園である「風蓮湖・春国岱」は、野鳥観察や自然環境教育の場として利用されていることから、春国岱周辺の環境整備等を実施することにより、より一層の自然環境と調和し安心かつ快適に観光できる基盤の整備促進に努めることが必要とされている。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 春国岱周辺の環境整備及び春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンターの適正な運営については、設置者である市が実施すべきである。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 春国岱周辺の環境整備等を実施することにより利用者の利便性を高めることから緊急性はある。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 関係機関や外国人観光客を含めた利用者の要望を参考とし整備を進めるため、適切である。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 関係機関や外国人観光客を含めた利用者の要望を参考とし整備を進めるため、概ね公平である。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 春国岱周辺の環境整備等を実施することにより、外国人観光客を含めた利用者の利便性を高めることにつながるため、本事業の有効性は高い。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【速やかに実施】 速やかに事業推進を図るとともに、関係団体や市民ボランティア団体等と連携し、より一層、事業の充実に努められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input checked="" type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 関係団体や市民ボランティア団体等とより一層の連携を図り、事業の充実について検討してまいりたい。春国岱周辺海岸を一般市民を巻き込み、引き続き市民協働型の一斉清掃事業として実施する。

作成年月 平成30年6月